



～ 保護者アンケートの結果から ～

1月に実施した保護者アンケートの結果を報告させていただきます。保護者アンケートには、全119世帯のうち、98世帯(82%)の保護者の方から回答をいただきました。ご協力、ありがとうございました。

① お子さんは、きちんとあいさつすることができる。92.9%

「よくあてはまる」
「ややあてはまる」
の合計割合

保護者の皆様からは高い評価をいただきました。子どもたちは、コロナ禍で大きな声を出してはいけないという意識があるかも知れませんが、教職員の振り返りでは、もっと進んで元気なあいさつをすることができるようにしたいという意見が多くあがりました。朝登校する時だけではなく、教室に入る時、校内で保護者の方や来校者の方々に会った時、相手と目を合わせ、爽やかなあいさつや会釈をしたり、お礼の言葉を伝えたりすることができるように、今後も指導していきたいと思います。



② お子さんは、学校での学習内容を理解できている。81.4%

学習面では、年度初め2か月間の休校を取り戻すため、苦心しました。「週の時間数増」「夏・冬休みの縮減」と共に、「密接・密集や飛沫が生じる活動をなくす・減らす」「カリキュラムの入替」等、様々な工夫を重ね、学習活動を行ってきました。アンケート結果では、例年に比べて大幅な低下は見られませんでした。(昨年度:85.7%)本年度も残り約1か月、学年の学習内容定着を目指し、支援していききたいと思います。

③ お子さんは、運動会や作品展等の学校行事に一生懸命取り組んでいる。100%

運動会や作品展では、感染対策に苦心しながらではありましたが、子どもたちの頑張った姿や成果を見ていただくことができました。コロナ禍においても、子どもたちの頑張りが輝きからは、元気をもらえる気がします。

④ お子さんは、読書に進んで取り組んでいる。69.4%

本年度、学校努力点として力を入れている読書活動。学校では、毎朝10分、必ず読書の時間を取っています。「継続は力なり」で、年度当初に比べ、格段に集中できるようになったと思います。各学級では、「読んだ本の感想や記録を書きためる」「お薦めの本を紹介し合う」といった活動や、「挿絵を基に物語を想像する」「物語の続きを想像する」「バラバラにした文章の順序を考える」といった授業等、読書の楽しさを感じるための取り組みを進めました。実施したアンケートの結果からは、「読書が楽しい」と感じている児童が多いことが分かりました。その一方で、自ら進んで読書に取り組むことがまだできていないと感じている児童及び保護者の方が多いことも分かりました。家庭でも、「家族そろって10分読書」の時間を作っていただければどうでしょうか。読書を通して、思わぬ話題や発見が生まれるかも知れません。



⑤ 学校が読書活動に力を入れていることを知っている。68.8%

今年度は、授業参観を一度も実施することができず、残念でした。来年度は、学校努力点の取り組みについても、ぜひ見ていただきたいと思います。



⑥ 学校は、お子さんの怪我やトラブル等について、適切に対応し、家庭に伝えている。87.6%

お子さんの安全や心の成長を一番に考えて、これからも、保護者の皆様との連携を大切にしながら、学校教育活動を進めていくことができるよう、努めていきたいと思ひます。

⑦ 学校は、新型コロナ感染症の拡大防止に対し、適切な対策を行っている。98.9%

新型コロナ対策についても、保護者の皆様から高い評価をいただきました。今後も信頼できる学校であり続けられるよう努めてまいります。